



# BS-S 集合管上部遮音カバー

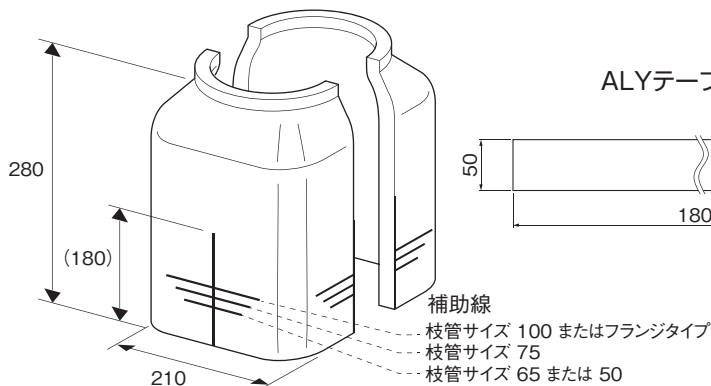
## 取扱説明書

不燃認定番号：NM-4059

### 製品仕様

#### 集合管上部遮音カバー

上部用カバー(1組)



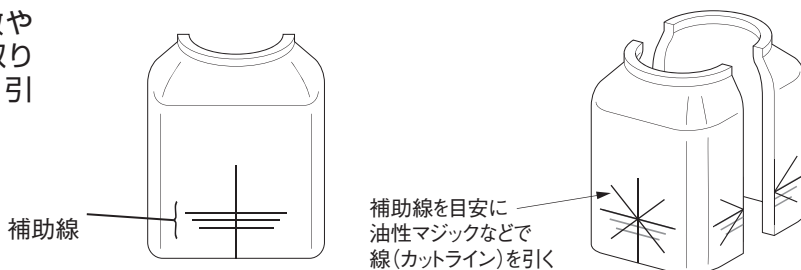
### ⚠ 注意事項

- ・上部用カバーは、床スラブから浮かないように取り付けください。カバーが浮いていると遮音性能が損なわれる恐れがあります。
- ・カバーの合わせ面、スリット部に隙間が発生しないようにテープ貼りを行ってください。
- ・はさみ、カッターナイフでケガをしないようにご注意ください。
- ・作業時には、軍手・手袋・マスクなどを着用して下さい。
- ・保管・施工の際には直射日光や風雨がかからないように措置を施してください。

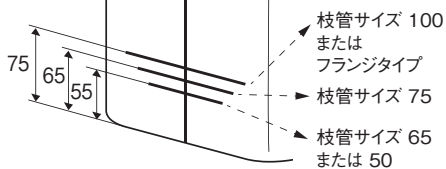
本製品は、積水化学工業株式会社製集合管 ADスリム継手（一般タイプ）80A、100A  
 株式会社小島製作所製集合管 CP60（1方向、2方向 [L、I]、3方向）80A、100A  
 株式会社クボタ製集合管 3SL、4SL、（A、B、C、Dタイプの標準品）に対応しております。

### ■ 施工手順

- 1** 集合管から出る枝管の数やサイズに合わせて、枝管取り出し用のカットラインを引きます。

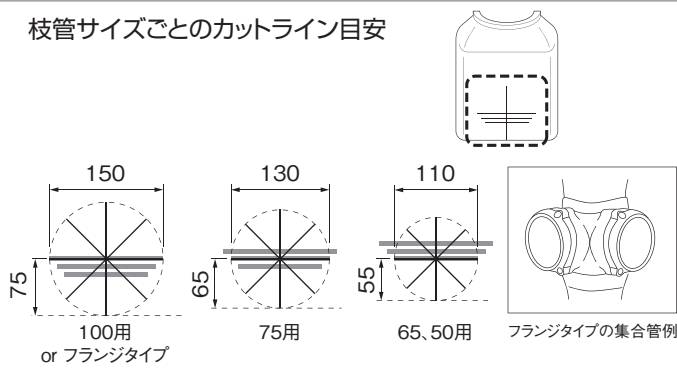


上部用カバーにはカットライン目安となる補助線\*が引かれています。



\*補助線は、集合管が床直付け（浮かしなし）の場合の目安になります。集合管を床面から浮かして施工する場合は、浮かし高さの分だけ調整してください。

枝管サイズごとのカットライン目安



## 因幡電工事業部

因幡電機産業株式会社

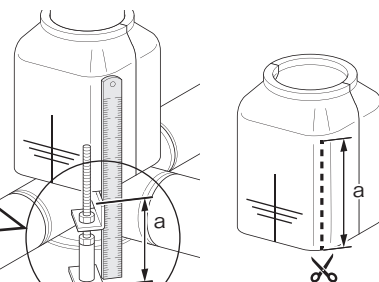
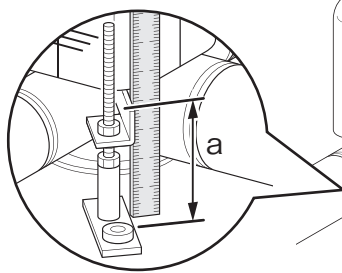
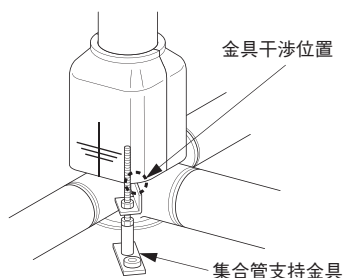
（最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください）  
<http://www.INABA-DENKO.com/>  
 本 部 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川(11F)

## ※集合管支持金具使用の場合

支持金具と干渉する部分にもスリット加工を行います。

(1) 集合管支持金具使用の場合は、金具上で仮組みし、金具が干渉する位置を確認します。

(2) 金具の高さを測り、金具が干渉する高さまでカットラインを入れます。

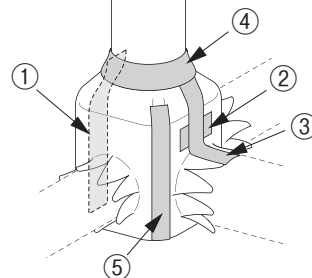


**2** カットラインに沿って、はさみまたはカッターナイフでスリット加工を行います。

**3** 上部用カバー合わせ面、仮止め、支持金具補修用のテープをカットします。

- ① テープA …… 背面用300mm
- ② テープB …… 正面仮止め用100mm
- ③ テープC …… 正面用300mm
- ④ テープD …… 縦管円周用500mm
- ⑤ テープE …… 支持金具スリット、その他補修用600mm

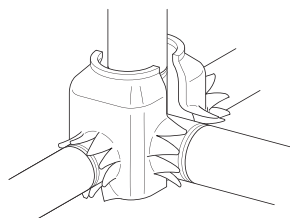
テープ施工イメージ



**4** 上部用カバーの取り付け

4-1. 集合管支持金具を使わない場合

(1) 上部用カバーを取り付けます。上部用カバーが床スラブから浮き上がる場合は、スリット長さを見直してください。

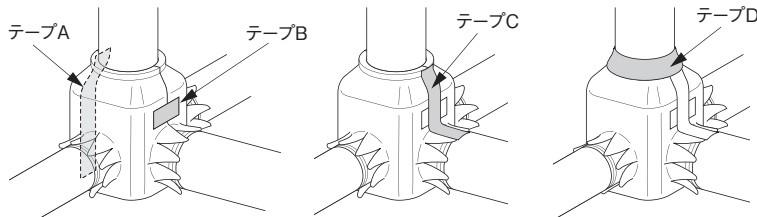


**ご注意** 上部用カバーが床スラブから浮かないように、カバー端部が枝管の下に収まるように取り付けてください。カバーが浮いていると遮音性能が損なわれる恐れがあります。

(2) 以下の手順でテープ止めをします。

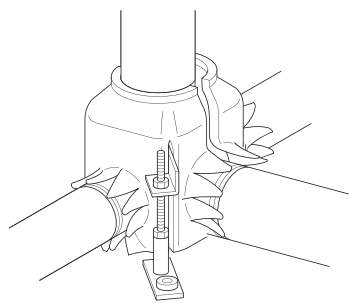
上部用カバーの合わせ面、スリット部にすき間が生じないようにテープを貼ってください。

- ① 背面側テープ止め(テープA)
- ② 正面テープ仮止め(テープB)
- ③ 正面テープ本止め(テープC)
- ④ 縦管円周テープ止め(テープD)

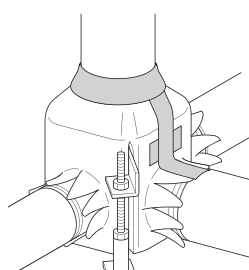


4-2. 集合管支持金具使用の場合

(1) 上部用カバーを支持金具の上から差し込みます。



(2) テープ止めをします。上記同様 テープA~D



(3) 最後にスリット部をテープEで補修して完了です。

